

2025年 春号

Lettre de Mahoroba

【嚥下内視鏡検査を開始しました】



日本整形外科学会 専門医

日本医師会 認定産業医

日本医師会 認定健康
スポーツ医

日本リハビリテーション医学会
認定臨床医

当院は全床回復期リハビリテーション病床であり、脳卒中の患者さんが多く入院されています。その中には手足の麻痺だけでなく、摂食・嚥下（飲食物を飲み込むこと）機能が低下されている方もいらっしゃいます。食べることは病気をお持ちの方のみならず健康な人でも十分な栄養を摂るために重要なことです。そこで患者さんの摂食・嚥下機能の維持・改善を図るため、昨年より摂食嚥下支援チームを発足しました。その活動の一環として嚥下内視鏡検査（VE）を開始していますので、簡単にご紹介させていただきます。

VEは胃カメラのようなものを鼻の穴から入れ、喉元にある気管と食道の分かれ道を覗く検査です。物を飲み込むときは気管に蓋がされて飲食物が気管に入らないようになりますのですが、その機能が悪くなっていたり十分に嚥下できず気管の入り口近くに食物が残っていたりすると、気管から飲食物が肺の方に入ってしまう誤嚥性肺炎を起こしかねません。そういったことがないかどうかを観察し、食事形態の選択や水分にトロミが必要かどうかの検討を行うことに役立っています。

今後も患者さんが安全に口から食事を摂っていただけるよう努力して参ります。

リハビリテーション科 部長 医師 永澤 大

【嚥下内視鏡検査とは？】

嚥下内視鏡検査は、細い内視鏡を鼻から挿入し、飲み込みの動作を観察する検査です。誤嚥の有無や喉の動きを確認することで、患者さまに適した食事形態やリハビリの方法を提案します。

【こんな方に検査しています】

- ・飲み込みにくさを感じる方
- ・食事中にむせることが多い方
- ・飲み物が気管に入ってしまうことがある方
- ・パーキンソン病や脳血管疾患などで嚥下機能が低下している方

【検査の流れ】

1. 医師が患者さまの状態を確認し、検査を実施します。
2. 鼻から内視鏡を挿入し、喉や声帯の様子を観察します。
3. 実際に食べ物や飲み物を摂取し、飲み込む際の動きを評価します。

【嚥下内視鏡検査のメリット】

- ・リアルタイムで観察可能: 飲み込む際の喉の動きをその場で確認できます。
- ・安全な検査: 放射線を使用しないため、身体に負担が少ないです。
- ・短時間で実施可能: 検査は約20～30分で終了します。

【摂食嚥下支援チーム活動とは？】

当院ではSST(摂食嚥下支援チーム)委員会を設立し摂食の評価を行っています。永澤医師を中心に看護師、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、医療事務等の多職種での連携を図りつつ、VEを利用して今後も患者さんの摂食機能の向上を目指しています。



Merry Christmas

クリスマス会

12/24



会場にこられない患者さんには、サンタさんから訪問させていただきました。



今年もリハビリを頑張る皆さんとともにクリスマス会を行いました。毎日休みなくリハビリするのは大変ですが、ひと時お茶とケーキ、そして一緒に歌う集いことができました。



音楽会

10/19



歌と演奏のボランティアさんを迎え、ミニコンサートを開いていただきました。普段はリハビリを頑張るみなさんと一緒に歌って聴いて、楽しい時間を過ごすことができました♪



平成まほろば病院 外来診療担当表

	曜日	月	火	水	木	金	土
1	診療科	リハビリテーション科	内科	リハビリテーション科	内科	内科	リハビリテーション科
	担当医師	田中	中村	田中	担当医	中村	田中
2	診療科						
	担当医師						

診療時間	午前診療	9:00～12:00
	午後診療	予約診療のみとさせていただきます。

平成まほろば病院

交通・周辺図



近鉄橿原線畝傍御陵前駅より徒歩 約10分 四条町交差点より車 で約7分

〒634-0074

橿原市四分町82番地1

TEL 0744-21-7200 (代表)

FAX 0744-21-7222